

横芝光町学校適正配置等検討委員会

総務調整分科会会議録

- 1 開 会 平成28年12月19日 午後1時30分
- 2 場 所 横芝光町町民会館 会議室A
- 3 会議日程
  - (1) 開 会
  - (2) 教育長あいさつ
  - (3) 協 議 町民等意向調査アンケート内容について
- 4 出席委員 5名
- 5 出席職員 横芝光町教育委員会 教育長 齋藤 明  
事務局 教育課長 椎名 富士男  
教育課副課長 小川 重之  
教育課総務班 山崎 千恵

進 行 ただ今から「横芝光町学校適正配置等検討委員会総務調整分科会」を開会いたします。

始めに教育長よりご挨拶いただきます。

教 育 長 ( 挨 拶 )

進 行 続いて本分科会の分科会長並びに副分科会長の選出を行いたいと思います。選出についてはいかがいたしましょうか。

委 員 A 事務局一任

進 行 事務局一任の声をいただきましたので、事務局案を申し上げます。

( 事務局案提示 異議なし )

それでは分科会長、副分科会長にごあいさつをいただきたいと思います。

分科会長 ( 挨 拶 )

副分科会長 ( 挨 拶 )

進 行 それでは分科会長、議事進行よろしく申し上げます。

分科会長 それでは、早速説明及び協議に入らせていただきます。まず、横芝光町立小・中学校適正配置に関する町民アンケートについて事務局から説明を求めます。

事務局 町民アンケートについて、説明させていただきます。第3回の検討委員会にて横芝分科会、光分科会に分かれて、アンケート内容についてご審議いただきました。学校適正配置に関するアンケート（案）についての意見をご覧ください。協議については一つひとつの意見につきまして、事務局としての修正や変更等の対応を説明いたしますので、その都度、協議をいただければと思います。よろしくお願ひします。まず、はじめにアンケート全般に係る意見ですが、冒頭にこのアンケートの趣旨や現状及び将来の推移等を入れた方がよいという意見がございましたので、アンケートご協力のお願ひとしてこれらを盛り込みました。（文書内容を説明。）このような冒頭部分の説明でよろしいでしょうか。

分科会長 ご意見があればお願ひします。

委員 B アンケートの意見の中で、わかりやすくという話があるので、文書が硬いと思います。ここにある「社会性」というのはどういうことを指しているのか。「難しくなる等の～懸念されており」この辺はいらないと思います。もうちょっと一般の人向けに作った方が良くと思います。

事務局 この文言は文部科学省から示されている手引きの中に適正化を進めるにあたっての背景ということでこの文言があったので、そこから引用しました。確かに硬いかと思います。

委員 A この前の会議で統合ありきのような方向性が見えるような形のアンケートにはいけないと申し上げたと思います。まさに、「さて、」の後の4行をどう取るかだと思います。冒頭で町長は「合併は考えてない」と言いました。それから、先日、視察して、南条小学校に立派な体育館を作っていただいて、廃校するというわけにはいかないと思うのです。という話をして、だけど、ちょっとアンテナの高い住民は合併するような話でいます。この4行はまさに。文言が難しい、50人で育ったのと5人でもまれたのでは違う訳で。アンケート結果を無視して方向性を出すことはできないと思います。その辺のところアンケートを取る上での難しさかなと思います。このように方向性が見えるアンケートではいけないのではないかということです。

ですので、この4行はどういう捉え方をするのか懸念しました。

委員 B

この4行は合併ありきの文章だと思います。

委員 A

でしたら、やめましょう。他の委員さんがそうは見えないと言われれば、良いと思いますし。

分科会長

皆さんはどうでしょうか。

委員 A

もう1つ方向性をまとめるための基礎資料とありますが、このアンケートの結果を受けて、次の方向性と思うのですが、全く違う意見になってしまうこともあるので、こういう文言になるのかもしれませんが。

委員 C

この4行は事実は事実ですよ。これは、本町に限らずどこでもそういう傾向にあると思います。事実は事実ですけども、これを読んだ時に町は過小規模校についてはそちらの方向に持っていくためと。そちらの方向に持っていきたいがためのアンケートならばそれで良いと思うのですが、純粹に住民の意見を吸い上げるためのアンケートとなるとどうなのかなと思いますし、アンケートで出てきた結果を受けて、町の方向性がそれにぴったり合うように出せるとも思わないです。やはり、それは一資料であって、検討を重ねた上でこの先この町の学校がどう進んで行くのか考えて行くための資料だと思います。そこで、難しさがあるのかなとそういう気がします。

分科会長

ざっくばらんに行きましょう。他にご意見ありますか。

事務局

この4行ですが、確かに言葉が難しいというご意見もありますし、いらぬというご意見もありました。そうした中でこの4行部分を横芝光町の子どもたちが減少してるということは町民のみなさんにご承知だと思います。町の子どもたちが減ってしまっているという現実だけにとどめて、こうした中という後段へ進むような形にさせていただくことでいかがでしょうか。

委員 A

具体的に言うと？

事務局

「横芝光町も他市町村と同じように子どもたちの減少が顕著になっています。こうした中、7月から検討を始めました。」ということで、その4行を短くしてしまうということです。本来であれば、この社会性を高めるだとか切磋琢磨するという表現も使いたいところです。実際は減ったところで何だということのか

もしれませんが。言葉足らずになってしまいますが。

委員 A 内容的には完璧だけれども、合併を視野に入れた調査ではない  
ということをごどこかに入れたらどうかと思います。

委員 B 事務局が言われたように、近隣も減少しているということを入  
れていったら良いのではと思います。

委員 A その程度なら。

事務局 実際、この近辺でも調整はしているわけですので。

委員 B 人口減少に歯止めがかからないなどの話もしたら。

分科会長 文科省からのこの4行を近隣も子どもがだいぶ減ってきている  
と本町もそれによってうんぬんというように差し替えること  
でよろしいでしょうか。

委員 A 次のこの資料は付けるのですか。付けるのであるならば、資料  
いくつの現状だという方が判りやすいと思います。現状だけお  
知らせして、だから、適正配置等検討委員会を設置したのだと  
いうように差し替えたらと思います。

分科会長 4行については、資料をつけて現状を知らせるということでよ  
ろしいですか。

委員 C 良いと思います。

分科会長 事務局の方で一生懸命考えてください。

事務局 続きで資料の方ですが、町の現状、子どもの児童生徒数の現状  
ですとか、将来の推移、それを示した方が判りやすいという意  
見をいただきましたので、参考ということで小学校、中学校別  
に平成25年度から平成34年度までの児童数並びに学級数  
ということでまとめたものを載せております。また、平成28  
年度データということでそれぞれの学校の児童数、世帯数、ど  
のような規模の学校か、1年生から6年生まで複式学級も含め  
て何学級で編成をされているのか。また、平成34年度までの  
学級数の増減はどうなっているかそれぞれの学校について付  
けております。今の平成28年度のデータですが、ここまで詳  
しいものは事務局で話した時に必要かどうか出たのですが、委  
員さんの方でご意見を頂けたらと思います。事務局としてはグ  
ラフと表だけをアンケートと一緒に付けようかと思っております。  
この学校ごとの今年度のクラスの数や子ども数というの

は、委員の皆さんには詳しくわかってもらいたいと思って付けた資料でございます。

委員 A  
事務局

賛成。  
もう1枚、参考資料として、アンケートの中にも文言が出てくるのですが。4つ目の質問に出てくるのですが、「千葉県の～」というものをアンケートの設問の中に入れてしまっていたので、そう目指しているのでしょと方向付けをこちらが示しているととられてしまうのをなくすために参考資料ということで法令等の学校規模として学級編成基準や学級数、適正な学校規模の条件という抜粋の資料を添付しています。これについても必要かどうかご審議いただければと思います。

分科会長  
事務局

そうすると、参考資料は、小学校、中学校のグラフ、最後の法令等についての抜粋をどうしようかということですね。

事務局

アンケートを答える保護者の中には、例えば、うちの学校は子どもたちが少なく小さい、だけれども、標準と言われているクラス、学校というのは何人なのかという予備知識、情報提供をし、理解していただいた上で答えていただくかなという考えです。

事務局

前回、お渡ししたアンケートをお持ちの委員さんは見ただければわかると思いますが、例えば、一般市民の間5の設間で「1学級あたりの児童数は何人程度が望ましいと思いますか。」のすぐ下に、「学級編成基準～」と書いてあって、いかにもこのように誘導しているような感じがするのかなということで、それを、冒頭でまとめて予備知識として提供するという考えの変更でございます。

委員 B  
事務局

問5で理解しやすいといたら、元の方が良いと思います。  
事務局としても入れようかどうか迷いました。やはり、わかりやすい方が良い方がよいと思い訂正をしました。

委員 B

捉え方ですから。

委員 A

戻ってしまいましたが、これでは、1学級の人数が判らないですよ。このグラフと次の表も入れるのですか。

事務局

わかりません。

委員 A

横芝光町の人数が減っているのが判れば、グラフだけで良いの

ではと言ったのですが。

教 育 長 ( )内の数字は学級数なので複式学級が判るわけです。クラスの平均人数を入れるのではなくて学級数を入れました。これを入れるかどうかご協議いただければと思います。

委 員 A これでは、複式はわからないと思います。このデータだけで複式を読み取れる人はいますか。

教 育 長 法基準の中でこう定めてあるということをおこの中でうたうことはできないので、入れるとその方向にと言われてしまうから、複式というのはこういう中に含まれていますと含みを入れて数字を当てはめているのです。

委 員 A 表はいらぬのではないか。わからないものを入れてもどうかと。ここで示して論じるのであれば、各学校の1クラスの人数当たりのデータも示せば。ただ、先ほど事務局が言ったように人数が減っているのですよ、と現状をお知らせするのみにとどめるのであれば、下の表は必要ないと思います。

教 育 長 本来だったら、もっと詳しく現状を出すべきだと思います。例えば、南条小が何年か先に1年生が2人しかいない。大総小には4人しかいない学年があるといった数値を全部出すべきだと思いますが、そこまで出してアンケート調査をする必要はないのではないかと思います。なおかつ、全体で50人しかいない。50人としたら6学年で割ったら10人を割っているのです。10人を割っているし学級数も4クラスしかないということをお理解していただくために、学級数を入れさせていただいています。

分科会長 6学年で6クラス以上ないと複式だということです。

事 務 局 上のグラフで横芝小と東陽小は右肩下がりで分かるのですが、下の残りの学校は一塊というか下がっているのか上がっているのかわかりにくい。グラフが50人単位になっているので、現状維持のような形になってしまっている。なので、補足資料として下の表ということになっております。

委 員 A ( )内の数字なんかは、注釈が無いと判らないと思います。そういうことで、関係法令を付けています。関係法令だけ示しても、わかる人は少ないのかもしれませんが、膨大な資料を与

えるのか、全く与えないか、その中間ということで、必要最低限の参考資料ではあるかと思います。

副分科会長 アンケート用紙についてはこちらに集約してあるのですが、資料で必要なものがあれば、付けて、アンケート用紙の中からは抜いてやればよいと思います。必要ないのかもしれないですが、自分の学校がどのくらい人数居るのか、どのくらいの人数になってしまうのかといった時にはこの数字はあった方がよいと思います。これまで、削除しなくても良いと思います。

事務局  
委員 C アンケートの中ではなくて、別刷りにしたということです。関係者は、どういう形になると複式になってしまうと判るのですが、子どもを送り出している親御さんもそうだし、お子さんのいないご家庭の方はわからないと思います。何で複式なのかと思うと思います。こちらの手立てとして、説明していますというものは必要だと思います。この説明で判らない人もいるかもしれませんが、示されていないかったら、それさえ判らない。示したなかで4という数字をみて複式だと判ってもらうことかと思います。

教育長 私たちでも難しいと思うのですが、説明をみてわかる人はいないかもしれませんが、示したうえでアンケートはした方がよいと思います。まして、アンケートの中から取り出した方がよいという意見も出たので、資料にしたというところでは。

分科会長  
事務局 よろしいですか。次へ。  
設問の仕方ということでさまざまな○をつけてください等の表現を統一しました。今まで文章中に入れていた標記を、文章外に括弧書きで（○印は1つ）（○印は3つまで）（○印は当てはまるものすべて）というよう統一しました。

（ 特になし ）

事務局 続いて、小学校の設問は児童、中学校は生徒に訂正します。

（ 特になし ）

次は、このような文言はアンケートの設問の中では使わず、冒頭の参考資料の中に入れることにしました。表現も間違っていたのですが、冒頭にいれるので削除します。

（ 特になし ）

事務局 通学時間、通学距離、通学方法については、何をこのアンケートで求めているかわからないという意見をいただきました。一般ですと問9からになります。これについては、今までは通学距離が小学校では4キロ、中学校では6キロという基準のみが示されてきました。文部科学省からの適正配置の手引きの中で通学時間は概ね1時間ということで、通学方法についてはスクールバス等いろいろな方法が考えられますという新しい基準が示されたので、対象者の意識を問うのは必要ではないかと思えますので、この設問については残したいと思えますがいかがでしょうか。

委員 A それは、たぶん、私が言ったと思います。この集計は横芝小の保護者と南条小地区の保護者と地区別に集計するのかと聞いたと思いますが、ものによっては地区別だと思います。それこそ、まちまちだと。横芝小は近くの子もいれば遠くの子もいるでしょう。南条小は近くの子はいない。地区別と全体と出てきたデータをどう分析するのかと思ったので。意味がないのではとその時は思ったのです。

事務局 全部クロス集計をしますので、全体でも地区別でも出す予定です。

委員 A 出てきたデータをどう分析するのか。例えば、某小学校では4キロ当たり前と、某小学校では1キロ以内でないと、という意見が出たらどうなのか。でも、そういう意見が出ても4キロ離れていたって行かないといけないでしょうと思ったのです。これをどう考察していくのか難しいと思ったので。必要というのであれば、入れても良いとは思いますが。

事務局 小学校は徒歩、中学校は自転車で行きなさいという交通手段になっておりますが、今現在の中で、例えば、小学校でもスクールバスがあればスクールバスに乗せたいという保護者の意見もあるかもしれません。現状の中で徒歩が適当なのか、他の交通手段を望んでいるのかという意向もくみ取れるのではないかと考えております。今、ちょっとの雨でも保護者が車で送迎をしていますから。あと、保護者の方でどれだけスクールバスというものに対する必要性というか望んでいるのかという



こともニーズとして把握したいところもあります。4キロと言われていますが、実際に遠い子もいると思います。東陽地区だと西高野や原方からくると4キロ超えてしまうと思います。

教 育 長 横芝でも4キロ超えていると思います。北清水近辺などは。  
事 務 局 アンケートをとれば子どもたちは近い方が良く、保護者も近い方が良くとなると思います。

委 員 B 通勤だって通学だって同じでしょう。  
事 務 局 それが数値的にどのくらい上がってくるか確かめたいと思っています。

委 員 B A委員も言われたように近いに越したことがないので聞かなくとも良いのではないのでしょうか。スクールバスのことがあるのでどうかとは思いますが。近いところになるのではないですかね。遠い方がという人も中にはいるかもしれませんが。

委 員 A 自分の子どもがどうということではなくて、どのくらいが良いかということですかね。

副分科会長 現状把握と親の意向というところをつかむのも。将来的に事務局が言ったようにスクールバスとか必要になってくる。その辺の意見も聞きたいところだろうし、委員会の方で必要だということであればいいのではないのでしょうか。

事 務 局 であれば、今、通学時間の方も通学距離の方も望ましいという設問になっておりますので、例えば、設問の意味合いを変えて、遠く感じるのは何分ですかとか長く感じるのは何キロからですかとかという聞き方に変更しましょうか。望ましいとなると近い、短いというのが一番ということになってしまうのは決まっていますので。

副分科会長 逆説的に。

分科会長 望ましいではなくて、文言を変えることでどうでしょうか。

事 務 局 長いと感じるのは何分からですかという意味合いです。距離の方だと遠いと感じ距離は何キロくらいからですかという意味合いで。

分科会長 どうでしょうか。

委 員 C 望ましいといったら近いことに越したことはない、短時間で行った方が良くと保護者、一般の方は考えると思います。安全面

とか不審者の問題、交通事故の問題も。いろいろありますから近い、短時間となりえます。事務局の言ったようにこの辺までだったら許容範囲だ、子どもだから30分くらい歩いた方が良くとか考えるのであれば、文言を変えていただいた方が良くと思います。その方がアンケートをする側の意図が出てくる気がします。

分科会長 文言を変える方向でよろしいでしょうか。

( 異議なし )

事務局 適正配置検討地域については、どの地域を指すかわからないとの意見をいただきました。問13です。新しい方では問14です。この場合検討は町内全ての学区、地域で考えていますので、この文言は削除します。

分科会長 「適正配置検討地域」という文言を削除することにします。

教育長 もう1つ事務局で迷っているのは、この1)の「検討委員会を設置する」というところで、全体としての委員会はすでにやっているのです。考え方によっては。その捉え方をどうするか。全体会も横芝地域、光地域で分かれてやっていますし。この言葉をどうしたものかと。結果が出たら、住民説明会をやらなければならないので、2)は生きてくると思いますが、1)はこの言葉で良いのかという疑問はあります。ご意見いただければ。

委員 A 教育長がおっしゃる通りです。私も誤解していました。検討委員会を新たに設置すると読みました。これは誤解をします。

事務局 ここで言う検討委員会は学校ごとの検討委員会という意味合いです。誤解のないようにするには「学校ごとの」という言葉を入れればと思いますが。子どもは減っているけれども学校運営には問題ない横小あたりが検討委員会を設けるの、となるので、適当な表現がなくて。

分科会長 みなさんのお知恵を。

副分科会長 事務局の言われたのは学校ごとに新たに作るということですよ。現在の委員会を生かすということではなくて。

事務局 この検討委員会は町の今後の方向性を出した時点で解散してしまうので、その時点で終わりになります。その後開くにはこれを新たに作るか、または学校ごとの委員さんにやってもらうか

というところですか。

委員 A 学校適正配置を検討する場合、これは合併だよな。

事務局 統廃合というところですね。

委員 A 日吉と南条とする場合は日吉と南条地区の保護者や地域の人と、ということでの検討委員会ということになりますか。

事務局 いっぺんに日吉と南条が話し合うのではなく、南条は南条、日吉は日吉で2段階目に一緒に検討するかというところに行くのではないかと思います。

教育長 当初検討地域はあったのですが、それを入れてしまうとそこだけだということになってしまうので、それを取った方が良いのではないかとこのことになったのです。

委員 C 必要ないところは置かないということですよ。いきなりはないと思います。匝瑳市も飯高は飯高で、匝瑳は匝瑳でやっていたから。学校に置くということだと思います。必要に応じてでは駄目ですか。難しいです。

教育長 学校ごとを入れればどうでしょう。

事務局 1) は保護者、地域の方々などを中心とした学校ごとの検討委員会を設置する。という表現にするということよろしいでしょうか。

委員 A 委員会を入れないといけませんか。検討会というのはどうでしょうか。

教育長 その方が良いと思います。

事務局 その次に問14 5) 売却処分とありますが、あくまで選択肢の1つということで残したいと思います。

( 特になし )

事務局 次に子どもをどのような人に育てていくことが大切かという設問ですが、このアンケート結果を適正配置とどのように関係させるのかわからない。教育環境を考える上では設問の順番を変えた方が良いという意見がありましたので、属性を聞く設問のあとに入れたいと思います。

委員 C これは私が言ったのですが、残すのであればこのようにした方が良いと思います。こういう子供に育てたい。保護者も教員もお持ちでしょう。子ども自身も持っていると思います。そうい

うものが根底にあるものなのかなと考えた時に最初から検討というものが出てくるよりは目指す方向性があれば良いと思いますが、そうでなければ、前の方に持ってきてこういう人になりたい、だから、こういう環境で学びたいというように持っていったら良いと思います。

( 賛 成 )

事務局 次に同じ設問の5)と6)をご覧ください。5)横芝光町に誇りを持ち6)の冒頭に入れた方が良いという意見がありましたので、6)の冒頭に入りたいと思います。

( 特になし )

その他ですが町との連携や少子化対策、児童支援、小中一貫についてはこのアンケートの趣旨とずれるので設問の中には入れないと思います。いかがでしょうか。

教育長 子どもを増やすことなどは地域創生のアンケートや総合計画のアンケートでも聞いていますので、今回のアンケートには入れないこととしたいと思います。事務局では委員さんの意見は意見として承知しておきたいと思います。それから、小中一貫校という言葉がありますが、今、ある意味小中一貫校というのは流行ではないですけれども、ニュースにもなっていますが、横芝光町に限って考えますと可能性的にも将来的にも非常に低いのではないかという判断をした中で入れ込まないことにさせていただきたいと思います。

委員 B 小中一貫校は、私は入れた方が良いでしょう。

事務局 千葉県の中でも進めている学校はあります。統廃合の1つの方法、手段として小中一貫を検討しているところもあるようですが、実際のところ中学校と小学校が同じところになればいけないと考えると横芝光町で小中一貫をやるとなれば、中学校が2つあります。その中学校に小学校を付けなければならないとなると新たに小学校を造る。そうすると、光中を考えると周辺は住宅が建っているのです、そこに小学校は建てられません。横芝中の場合は周りが農地なので建設は可能ですが、一貫校の可能性は低いのではないかと判断をしたところです。

委員 B 町民がどう思っているのか知るためにどうかということですが。

副分科会長 問 1 3 - 3 6)で入っているのです、これで良いかと思いますが。  
分科会長 これに住民の意見が問えるということです。  
委員 A 他の所で調査しているではなく、教育委員会としてそういう観点からご意見を求めたらいかがか。要するに、その他という空欄で本件に関しての意見があればお書き願いたいと加えた方が良いのでは。  
事務局 アンケートに係る自由記述は一番最後に新しいアンケートには入れていませんが、いろいろな意見を吸い上げたいと思いますので、そのような欄を作りたいと思います。  
委員 A 枚数を増やさず作れますか。  
事務局 それは可能です。次に保護者向けアンケートですが問 5 をご覧ください。( ) 書きがあると判りにくいという意見のとおり訂正したいと思います。問 5 の 2 についても同様です。いかがでしょうか。  
委員 A よろしいです。保護者は小中分けなくて良いですか。小学校から来たアンケート、中学校から来たアンケートで分けた方が良いのでは。  
事務局 児童生徒に関しても分けた方が良いという意見がありました。保護者の方は 5, 6 年の保護者だけではなくて幼稚園保育園に通っている保護者にも出す予定です。  
委員 A 幼稚園保育園にも。  
事務局 そうすると学校というのはおかしくなってしまいますね。  
事務局 実はここに「通う予定の学校」と加えたかったのです。問 5、問 5 - 2 に。  
事務局 小中別々にすることは考えていませんでしたし、幼稚園保育園の保護者にも出すので同じものでお願いしたいと思います。但し、「通う予定の学校」を加えさせていただきます。  
分科会長 分けますか。  
事務局 分けないです。  
分科会長 保護者向けの問 4 学区通う予定の学校は小学校だけで良かったのですか。  
事務局 中学校もあるわけですから。  
委員 A お住いの小学校区でどうでしょう。中学校の保護者も小学校区

に住んでいるから。

事務局 お住いの小学校区はどこですか。にしましょう。

事務局 学区外、区域外の方は。

教育長 その他を作ればよいのではないのでしょうか。

( 休憩 )

事務局 続いて教職員向けアンケートですが、最初の地区については教職員の勤務校について入れたいと思います。

( 特になし )

事務局 次に問3及び問3の2については先ほど、保護者向けアンケートと同様に訂正します次に問13ですが勤務地という表現に訂正します。

( 特になし )

最後に児童生徒向けアンケートですが、問3及び問3の2は先程と同じく訂正します。次の問4は児童生徒が再編制を考えるのは無理があるとの見をいただきましたので、設問自体を削除します。

( 特になし )

その他の児童用生徒用を別々にという意見ですが、これは今のままで行きたいと思います。ただし、問6の表現をもう少し平易な表現に訂正します。1の善悪を判断できる人、2は感受性豊か度を削除、3の良好なをよりよいに変更、4の自信と活力を自身とやる気に変更5の横芝光町に誇りを持ちを6の冒頭へ移動させます。

委員 A 別々にすれば、児童生徒というところも小学生には児童でいいし、中学生には生徒でよいと思うのですが。

委員 B 別々がいいのではないかと思います。

分科会長 それでは、内容は変えずに別々にすることでよろしいですか。

事務局 1つご検討いただきたいのですが、児童生徒の設問が問4を削除したので設問が5問になってしまったので、他に聞きたいことがあれば入れたいと思うのですが、いかがでしょうか。

委員 A 部活動について聞いてはどうですか。でも、部活動だと中学生だけになってしまいますが。

事務局 小学校でも部活動はあります。

教 育 長 部活をする子どもがどんどん減ってきていて、学校の部活でも競技を選ぶようになっていきます。陸上競技でもリレーチームが組め無いとか団体競技が組め無いという学校があるので、体操には出るけど、球技には出ないなど、学校で選んで出場しています。また、中学校では、例えば、横芝中の野球部は1チーム編成できなくて松尾中と合同チームになっています。それから、バスケット部は男子が2名しかいないから1年生が上がってくるまで団体戦が組めないとか、ソフトテニスもそうなんです。光中もその傾向があって、ある部に偏る。例えば、横芝中だと卓球部と陸上部に集まって、そちらに全部影響をしています。それは横芝中だけでなく、光中、近隣の学校全てに関係しているものですから、今後そういったことも含めた考え方も持たないといけないと思います。それをこの中に入れていただけたらと思います。そうすると、統合前提の考え方ではないかと捉われてしまうといけないと思っています。

委 員 B 生徒だから大丈夫じゃないですか。

副分科会長 親じゃないから、大丈夫では。

委 員 B それくらい入れても良いと思います。

委 員 A どこにどのように入れるか。中学生にとって部活動は大きいと思います。

事 務 局 実際、困っている生徒もいますから。

委 員 A どう思っているのか。入りたくても入れないこともあるだろうし。サッカーなんかクラブチームに入っているとサッカー部に入れない。だから、違う部活に入らないといけない。意見も含めて聞ければ。

教 育 長 それを認めていただければ、その文言を入れてさせていただきますので、それだけご了解いただきたいと思います。

分科会長 よろしいでしょうか。

事 務 局 この1つでよろしいですか。部活動に関することをプラスで。

教 育 長 もし、もう1つ許可いただければ、事務局として特にとということがあった場合にもうプラス1問くらい了解していただければ。内容はここでどうのこうのというのは言えませんが。了解していただければもう1問くらい追加する可能性があるとい

うことで。

委員 A どのようなことをお考えですか。

教育長 事務局としては詰めていませんが、部活動の話が出ましたのでそれで良いということであれば、それを入れさせていただいて、なお、それと同様のことが上がれば入れさせていただきたい。あえて入れるということではないのですが。

委員 A その他、自由意見欄については。

事務局 一般町民、保護者、教職員、児童生徒、全部に自由記載欄を入れて、その後ご協力ありがとうございましたとします。

分科会長 以上で協議を終了し、議長の任をとかせていただきます。ご協力ありがとうございました。

【終了時間】 午後 3 時 4 0 分